

2. グローバル化への対応の遅れ

経済活動における地域間競争の激化が進む中で、東北地方は、域外の港湾・空港の利用依存度が高い等、グローバル化への対応が遅れているため、国内外との競争力を高めていく必要がある。

- ・ 労働市場の国際化により、製造業のアジアへの移転等の産業の空洞化に伴い、雇用環境が悪化している。また、長引く不況により、東北地方における企業倒産は増加傾向にある(図 、 図)。
- ・ 東北地方は、規格の高い道路の整備率が全国と比較して低いこと、主要な港湾・空港と高規格幹線道路や鉄道とのアクセスが不十分であること等から、国内の移動輸送のコスト高、更には、製品コスト高を招いているため、経済・社会のグローバル化 による国境を越えた企業活動の活発化により、世界規模での企業間、地域間競争が激化している中で、国際海上コンテナ貨物の約8割が東北以外の港湾を経由しているなど、輸出入貨物は、域外の港湾利用に依存している(図 、 、 、)。
- ・ 東北の港湾・空港を利用した輸出入額は増加傾向にあるが、対全国シェアは低く、港湾地域の製造品出荷額シェアについては、宮城県と青森県を除いて全国平均(約15%)を下回っている。(図 、)。
- ・ 国際旅客については、日本人出国者の約6割が東北以外の空港を経由しているなど域外の空港に依存している。また、東北の空港・港湾からの入国外国人数は6万人程度と全国の1%に止まっており、極めて低水準である。そのため、今後の新たな地域経済活性化の鍵として外国人観光客の来訪促進が重要となっている(図 、)。
- ・ 国際競争時代に対応するため、時間コスト、輸送コストの削減や利用者の利便性向上に応えた物流・旅客サービスの提供が求められており、広域物流ネットワークの形成・強化や、東北に寄港する船舶の大型化に対応した港湾整備、空港との相互連携・機能向上を支える道路や鉄道整備等の社会資本整備が重要となっている。

図 厳しい経営、雇用状況

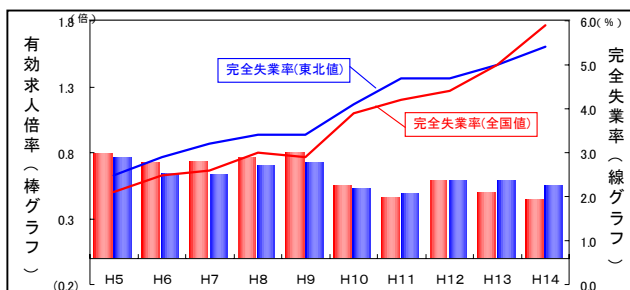


図 東北の企業倒産件数の推移

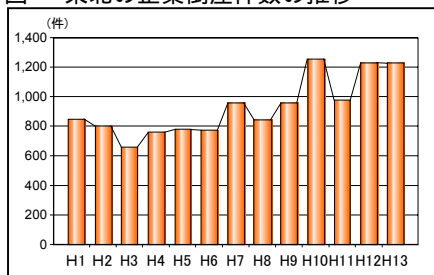
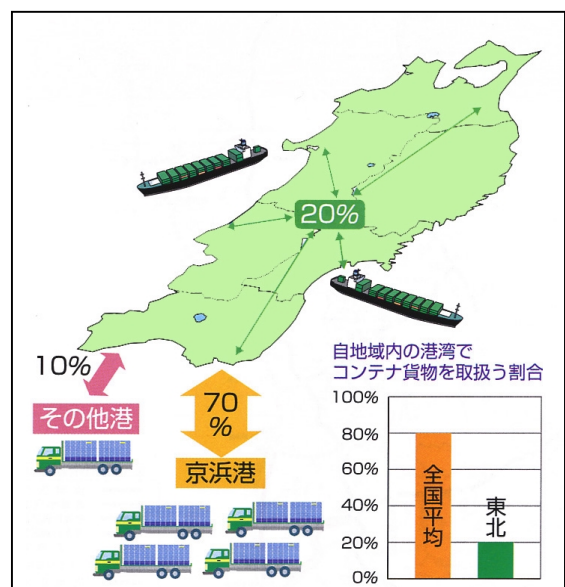
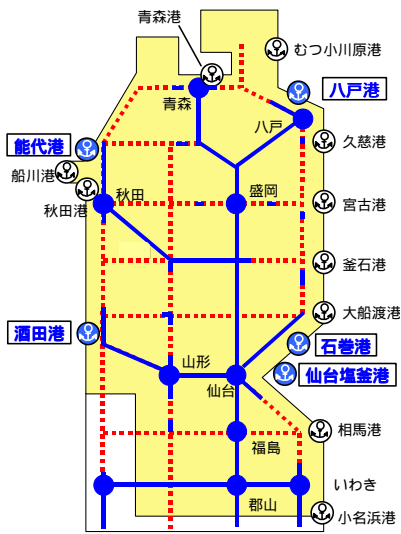


図 大都市圏に依存するコンテナ貨物輸送



グローバル化：ものごとの規模が国家の枠組みを越え、世界的、地球規模で拡大していくこと。

図 重要港湾と高規格幹線道路のアクセス不足

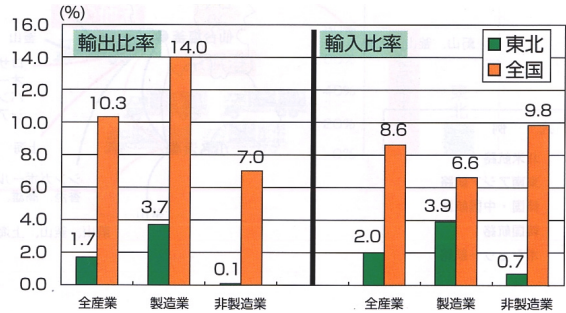


[現在(平成14年度末)]

凡 例	
	自動車専用道路等とのアクセスが可能な港湾
	自動車専用道路等とのアクセスが不可能な港湾
供用	— 未供用 —

(注)ここでのアクセスとは、自動車専用道路等のICから10分以内でアクセスが可能な港湾を示す。
時間算出は、平成14年7月実施の旅行速度調査による。

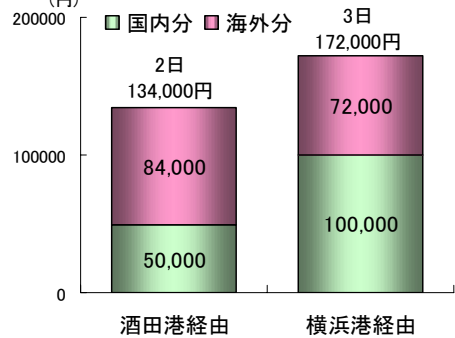
図 売上高に対する輸出入額



資料:東北経済産業局「平成13年版東北経済白書」

図 東北内、東北外港湾利用輸送コストの比較

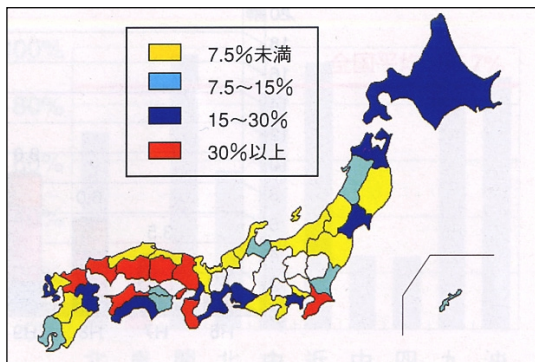
(山形市~釜山港コンテナ運賃、輸送日数の比較(試算))



※20フィートコンテナ1個あたりの運賃
※国内分はコンテナによる集荷、運送費用(高速料金は含まず)
※海外分は海上運賃のみ(通貨変動、燃料価格変動による調整分は含まず)
※荷主から港までの距離、量、内容により価格は変動する
※輸送日数には通関日数、港での保管日数は含まず

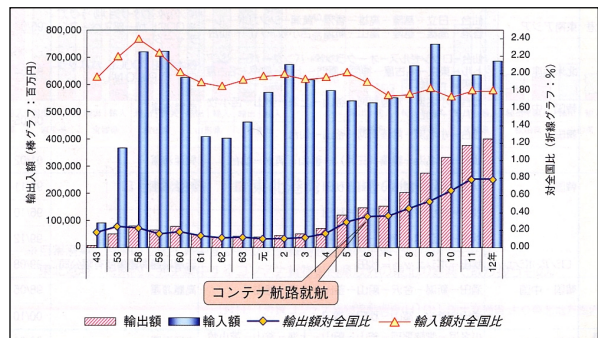
資料:東北地方整備局調査(平成15年)

図 都道府県別港湾地域の製造品出荷額シェア



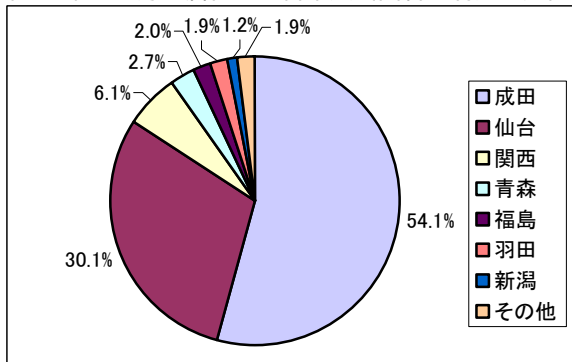
資料:東北港湾協議会「みちのく港の将来像」(平成14年)

図 東北地方の港湾・空港を利用した輸出入額の推移



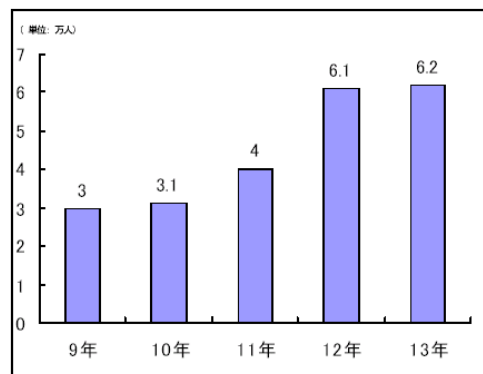
資料:東北経済産業局「平成13年版東北経済白書」

図 東北地方に居住する日本人出国者の利用空港内訳



資料:東北運輸局資料(平成11年度)

図 東北の空港、港湾からの入国外国人数



資料:東北運輸局資料